

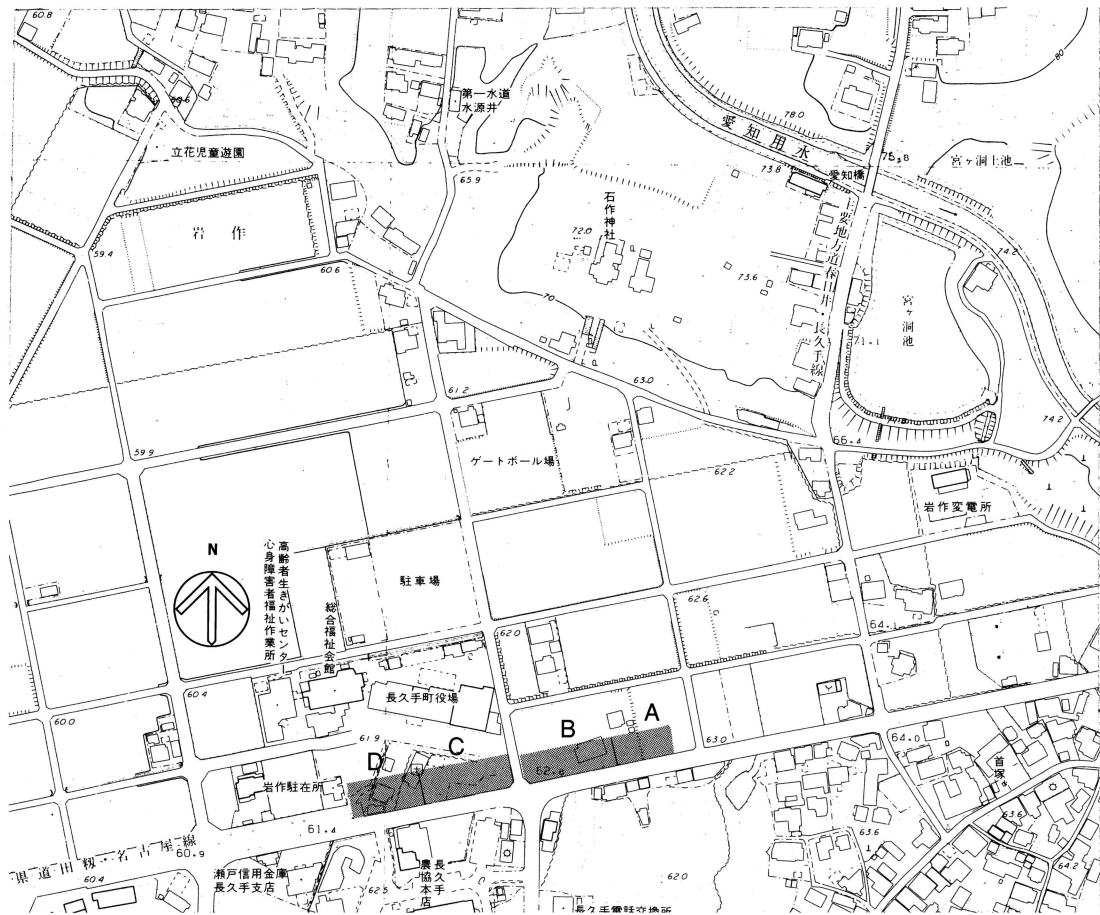
やぎこじょう
岩作城跡

調査の経過 岩作城跡は愛知県長久手町大字岩作字城之内および早稲田に所在し、長久手町南東に位置する三ヶ峰丘陵を水源とする香流川の右岸に形成された標高60mの沖積面に立地する。周辺には天正12年（1584）の小牧長久手の合戦にちなんだ旧跡も多く、遺跡は国史跡の長久手古戦場の北方1.4kmに位置している。

調査は県道田柵名古屋線の改良に伴う事前調査として、愛知県土木部より愛知県教育委員会を通じて委託を受け平成10年4月～11月の期間で行った。調査面積は1,800㎡であり、東側よりA～Dの4つの調査区を設定した。（黒田哲生・浅井厚視）

調査の概要 岩作城跡は、1985年に岩作城跡発掘調査会によって一部発掘調査が行われており、その際城館の中核部分の南側にあたる第3次調査地点では、城虎口を構成する土塁、堀、居住区域の一端が確認されている。文献に残る城の規模は東西四十四間、南北三十二間、土居幅二間（『尾張志』）であり、これをもとに明治17年の地籍図をもとに復元される方形区画では、今回の調査範囲は区画北辺から西辺に堀・土塁等を斜めに横切る位置と推定された。

A、B、D区では現況より100～120cm下の水田耕作土および床土層を除去したところで黄色シルト～粘土または礫層のベースに達する。C区は岩作城に関わる盛土（礫層）の範



第1図 調査区位置図（1：5,000）

囲とみられ、ここにはベース直上に炭化物と土師器の微細片を含む層厚10～25cmの暗褐色シルトの包含層の残存が認められた。

検出された遺構は古代の土坑2基、掘立柱建物跡1棟、中世では炭化物の集積する土坑、ピットのほか岩作城との関りが推定される15世紀半ば～後半の時期の溝、土塁、また近世の段階の盛土層（SX08）である。

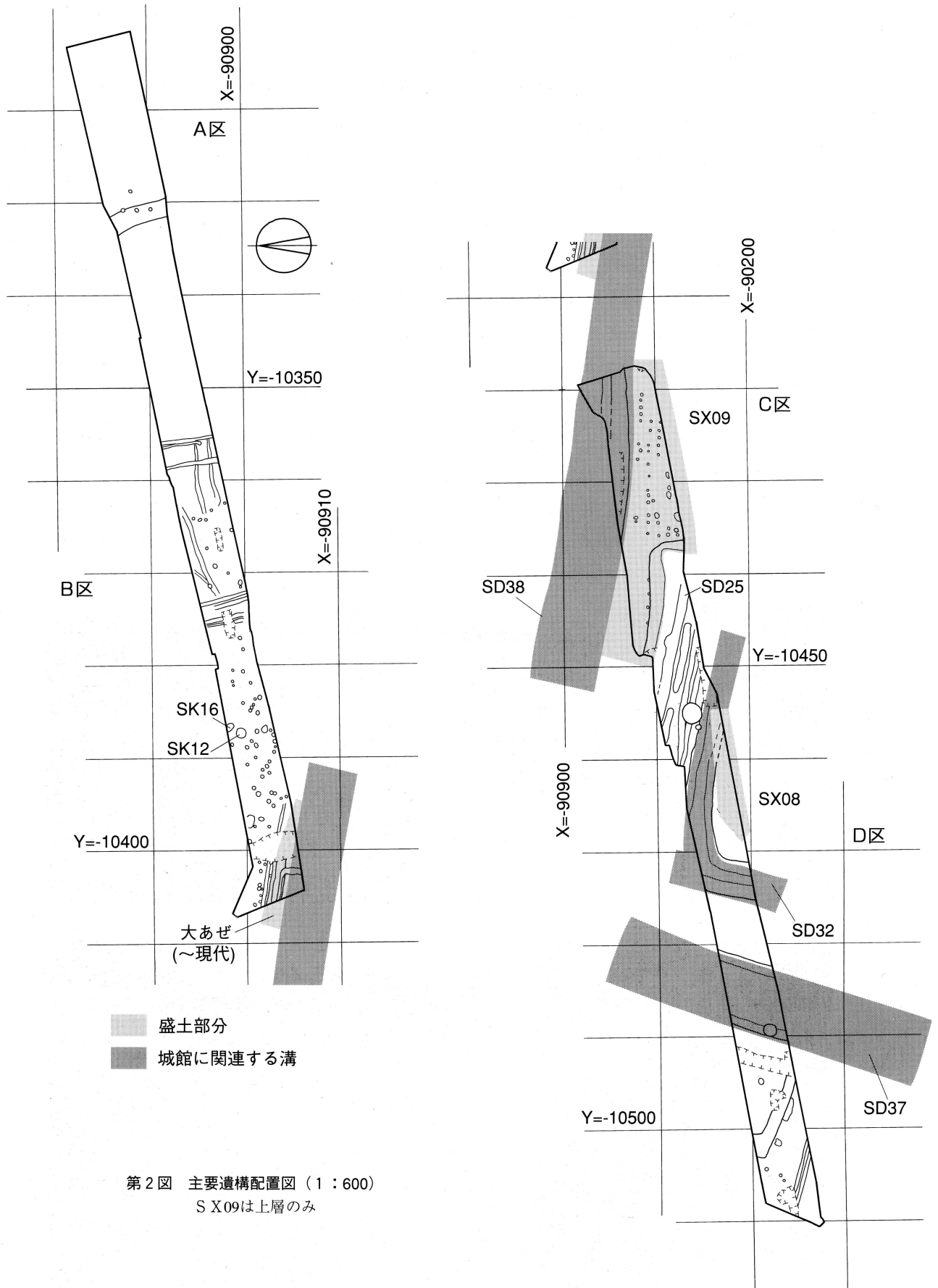
古代の遺構は主にB区西辺に分布し、SK12・16は9世紀代に属する。須恵器杯、蓋と土師器甕を伴い、近接して柱間1.8m前後の掘立柱建物跡1棟がある。須恵器は少量ながらも調査範囲全体に散発的にみられ、A区では8世紀代の須恵器横瓶を検出している。

中世の遺構は土塁と思われる盛土層（SX09）の構築を境に大きく2時期に分けられる。土塁構築以前の面である暗褐色シルト層上位で検出されたSX10は、一部溝状を呈する不定形の落ち込みであり、炭化物の集積する層と炭化物を多く含む5～20cmの褐色シルト層からは鉄滓が特に多く検出された。鉄滓は径3～7cm前後の扁平な塊状を呈し、断面が皿状をなす「椀型」滓も含まれる。焼土や壁面に被熱の痕跡は認められず、14世紀半ば～後半の灰釉系碗皿類と少量の土師器皿をともなう。

C区SX09盛土層の上端は、現況地表面より下50cm前後で達し、盛土部分の高さはおおよそ80～90cm、ベース面からは1.2mを測る。ここは古城の土塁跡として付近の水田より一段高くあったことが知られており、地籍図では畑地または原、この北側と南側は水田と記載されている。トレンチ断面ではSX09に接する北側水田耕作土の下に幅4m、ベースを60



遺跡遠景（平成10年5月撮影）



第2図 主要遺構配置図 (1 : 600)
S X09は上層のみ

cm掘り込んだ溝（SD38）が並行してのび、この掘削にともなう土砂がSX09の最下層を形成していることがわかった。SX09とSD38は城の北辺にあたる土塁と外堀に推定される。SD38から遺物は検出されず、粘土層の堆積から浅い水堀であった状況が窺われた。SX09の南には土塁内側を整地、嵩上げしたと思われる平場が続き、この整地層には須恵器、灰釉系陶器碗皿類、鉄滓、灰釉四耳壺、平碗、鉢、瓶子、天目茶碗などが多数混在して含まれ、15世紀半ば～後半を下限とするまとまりが認められる。皿、鍋などの土師器は極く僅かであった。出土遺物の大半はこの土塁および整地層など盛土中に含まれる。D区SD37は幅約7m、深さ90cmを測る。断面は浅い皿状を呈し、最下層は粘土、中位から上層までの礫層は人為的な埋積状況を示す。規模や形状はSD38と全く異なるものの、城に関わる施設として西辺の外堀と推定される。

水田であった土塁南側の低位面で検出されたSD32は、幅3.8m、深さ50cmを測り、断面逆台形を呈する。中層以上は礫層が人為的な埋積状況を示し、南北方向は北側調査区外にもさらにのび、東西方向の部分が先に廃絶する。掘削時期など判然としないが、SX09構築以前の区画溝とも考えられる。

まとめ

岩作城の外堀と土塁で構成される方形区画が構築されたのは15世紀後半以降と考えられる。また、改築以前にも一段階古い城館が存在した可能性もあり、これは前調査時の出土遺物の分布状況とも符合するものである。
(浅井厚視・武部真木)



SX09セクション



D区全景



C区全景



SX09（盛土）西から